

スコアシート			建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体		
配慮項目			環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質・性能									3.4
Q-1 室内環境						0.40			3.6
1 音環境					3.2	0.15	-	-	3.2
1.1 騒音					3.0	0.40	-	-	
1 1 暗騒音レベル					3.0	1.00	3.0	-	
2 設備騒音対策					-	-	-	-	
1.2 遮音					3.6	0.40	-	-	
1 1 開口部遮音性能					3.0	0.40	3.0	-	
2 界壁遮音性能			D-52を採用		5.0	0.30	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					3.0	0.15	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					3.0	0.15	3.0	-	
1.3 吸音					3.0	0.20	3.0	-	
2 温熱環境					3.4	0.35	-	-	3.4
2.1 室温制御					3.8	0.50	-	-	
1 1 室温設定					3.0	0.60	3.0	-	
2 負荷変動・過渡制御性					-	-	-	-	
3 外皮性能			外壁U=0.991W/(㎡K)を確保し、窓前には庇および庇ルーバーを設置		5.0	0.40	3.0	-	
4 ゾーン別制御性					3.0	-	-	-	
5 温度・湿度制御					-	-	-	-	
6 湿度制御					-	-	-	-	
7 時間外空調					-	-	-	-	
8 監視システム					-	-	-	-	
2.2 湿度制御					3.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式					3.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境					3.8	0.25	-	-	3.8
3.1 昼光利用					4.2	0.30	-	-	
1 1 昼光率			昼光率=2.5%		5.0	0.60	3.0	-	
2 方位別開口					-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備					3.0	0.40	3.0	-	
3.2 グレア対策					4.0	0.30	-	-	
1 1 照明器具のグレア					-	-	-	-	
2 昼光制御			ブラインドに庇および庇ルーバーを設置		4.0	1.00	3.0	-	
3.3 照度					4.0	0.15	-	-	
1 1 照度			照度715lx		4.0	1.00	3.0	-	
2 照度均斉度					-	-	-	-	
3.4 照明制御					3.0	0.25	3.0	-	
4 空気質環境					4.1	0.25	-	-	4.1
4.1 発生源対策					5.0	0.50	-	-	
1 1 化学物質汚染			F☆☆☆☆を全面的に採用		5.0	1.00	3.0	-	
2 アスベスト対策					-	-	-	-	
3 ダニ・カビ等					-	-	-	-	
4 レジオネラ対策					-	-	-	-	
4.2 換気					2.6	0.30	-	-	
1 1 換気量					3.0	0.33	3.0	-	
2 自然換気性能			自然換気有効開口面積を居室床面積の1/15以上確保		4.0	0.33	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮					1.0	0.33	3.0	-	
4 給気計画					-	-	-	-	
4.3 運用管理					4.0	0.20	-	-	
1 1 CO ₂ の監視					3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御			全館禁煙		5.0	0.50	-	-	
Q-2 サービス性能					-	0.30	-	-	3.5
1 機能性					3.2	0.40	-	-	3.2
1.1 機能性・使いやすさ					4.0	0.60	-	-	
1 1 広さ・収納性					3.0	-	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応					3.0	-	3.0	-	
3 バリアフリー計画			バリアフリー法の利用円滑化基準を満たしている		4.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性					2.0	0.40	-	-	
1 1 広さ感・景観					1.0	0.50	3.0	-	
2 リフレッシュスペース					3.0	-	-	-	
3 内装計画					3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性					3.6	0.31	-	-	3.6
2.1 耐震・免震					3.8	0.48	-	-	
1 1 耐震性			重要度係数1.25		4.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能					3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数					3.2	0.33	-	-	
1 1 外壁仕上げ材の補修必要間隔					3.0	0.29	-	-	
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					3.0	0.12	-	-	
3 配管・配線材の更新必要間隔			更新必要間隔25年		4.0	0.29	-	-	
4 主要設備機器の更新必要間隔					3.0	0.29	-	-	
2.3 適切な更新					-	-	-	-	
1 1 屋上(屋根)・外壁仕上げ材の更新					-	-	-	-	
2 配管・配線材の更新					-	-	-	-	
3 主要設備機器の更新					-	-	-	-	
2.4 信頼性					3.8	0.19	-	-	
1 1 空調・換気設備					3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備					4.0	0.20	-	-	
3 電気設備					3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法			建築設備は甲類を確保		4.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備			通信手段の多様化、引き込み2ルート化、浸水対策		5.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性				3.7	0.29	-	-	3.7
3.1 空間のゆとり				4.0	0.31	-	-	
1 階高のゆとり			階高3.75m確保	4.0	0.60	3.0	-	
2 空間の形状・自由さ			壁長さ比率=0.22	4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			2900N/m ²	4.0	0.31	3.0	-	
3.3 設備の更新性				3.4	0.38	-	-	
1 空調配管の更新性			電気配管内で更新可能 電気配管内で更新可能	3.0	0.17	-	-	
2 給排水管の更新性				3.0	0.17	-	-	
3 電気配線の更新性				5.0	0.11	-	-	
4 通信配線の更新性				5.0	0.11	-	-	
5 設備機器の更新性				3.0	0.22	-	-	
6 バックアップスペース				3.0	0.22	-	-	
Q-3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	3.0
1 生物環境の保全と創出				3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			キャンपीや庇を設けて日陰を形成	4.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性								3.5
LR-1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.9
1 建物の熱負荷抑制			PAL値 -49%	5.0	0.30	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.20	-	-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用				3.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用				3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化			CEC値による	4.0	0.30	-	-	4.0
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0
4.1 モニタリング				3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制				3.0	0.50	-	-	
LR-2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.7
1 水資源保護				3.4	0.15	-	-	3.4
1.1 節水			節水コマに加えて、節水型便器を使用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用				3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム				3.0	0.67	-	-	
2 雑排水利用システム				3.0	0.33	-	-	
2 低環境負荷材				3.7	0.85	-	-	3.7
2.1 資源の再利用効率				4.0	0.35	-	-	
1 躯体材料の再利用効率			コンクリート躯体一部に高炉セメントを使用	4.0	0.67	-	-	
2 非構造材料の再利用効率			合板、断熱材、タイルに再生材を使用	4.0	0.33	-	-	
2.2 持続可能な森林から産出された木材				3.0	0.04	-	-	
2.3 有害物質を含まない材料			接着剤に有害物質を含まない材料を採用	4.0	0.08	-	-	
2.4 既存建築躯体などの再利用				3.0	0.18	-	-	
2.5 部材の再利用可能性			躯体と仕上材が容易に分別可能	4.0	0.18	-	-	
2.6 フロン・ハロンの回避				4.0	0.18	-	-	
1 消火剤			ハロン消火剤を一切使用していない	4.0	0.33	-	-	
2 断熱材			ODP=0の製品を使用	5.0	0.33	-	-	
3 冷媒				3.0	0.33	-	-	
LR-3 敷地外環境				-	0.30	-	-	2.9
1 大気汚染防止				3.0	0.15	-	-	3.0
2 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.15	-	-	3.0
2.1 騒音				3.0	0.33	-	-	
2.2 振動				3.0	0.33	-	-	
2.3 悪臭				3.0	0.33	-	-	
3 風害、日照阻害の抑制				3.0	0.15	-	-	3.0
3.1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	
3.2 日照阻害の抑制				3.0	0.30	-	-	
4 光害の抑制			広告塔なし。外壁の反射光は影響なし。	5.0	0.10	-	-	5.0
5 温熱環境悪化の改善				2.0	0.30	-	-	2.0
6 地域インフラへの負荷抑制				3.3	0.15	-	-	3.3
6.1 雨水処理負荷抑制				-	-	-	-	
6.2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.33	-	-	
6.3 交通負荷抑制			適切な量の駐車場の確保し、荷捌きスペースを確保	5.0	0.33	-	-	
6.4 廃棄物処理負荷				2.0	0.33	-	-	

■ LR-1 用途別得点表		学校	-	-	-	面積按分 総合スコア
		5207 m ²	-	-	-	
1	建物の熱負荷抑制	5.0	-	-	-	5.0
3	設備システムの	4.0	-	-	-	4.0
	高効率化	-	-	-	-	
3.1	空調設備	3.0	-	-	-	-
3.2	換気設備	4.0	-	-	-	-
3.3	照明設備	5.0	-	-	-	-
3.4	給湯設備	-	-	-	-	-
3.5	昇降機設備	-	-	-	-	-